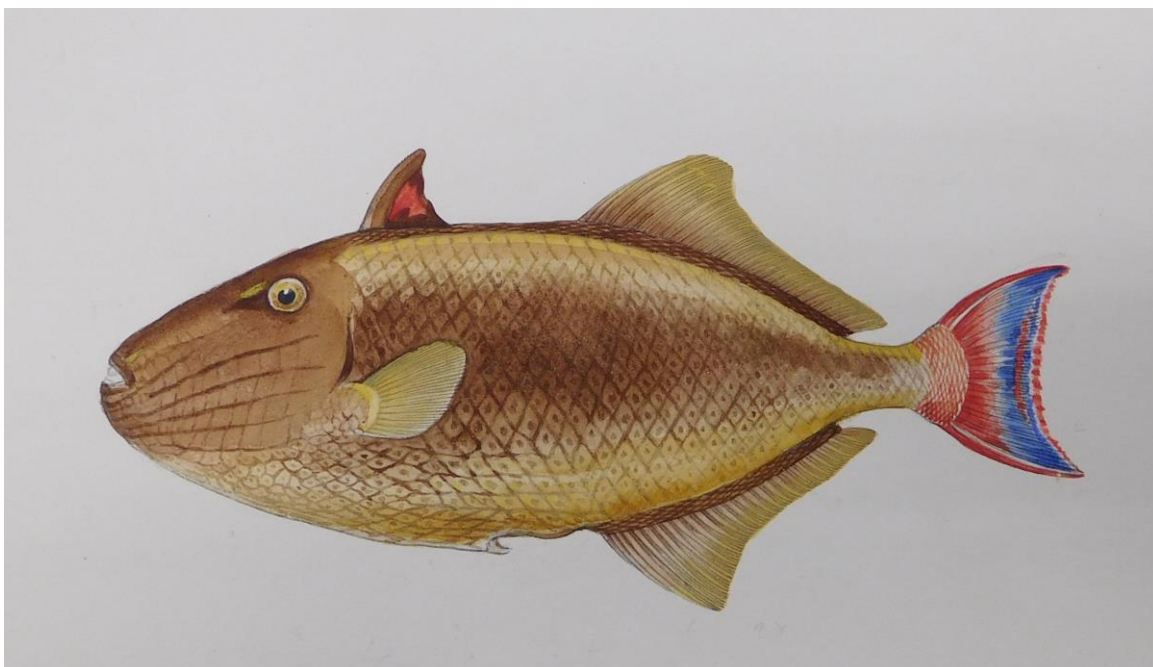


東京海洋大学品川キャンパス図書館 第13回企画展示図鑑で楽しむ江戸前の海

(第二期)展示目録

幻の魚類博物画家 伊藤熊太郎



場所:東京海洋大学附属図書館(品川キャンパス)

期間:2017年2月8日(水)~3月10日(金)

主催:東京海洋大学附属図書館

海の学びミュージアムサポート
Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

■表紙：伊藤熊太郎による原画 ナメモンガラ *Xanthichthys mento*

注1：各書籍・文献の書誌事項末尾の数字とアルファベット等を組み合わせた記号（例：667/Z3、P660/72）は、東京海洋大学附属図書館の請求記号です。

注2：各原画の記載事項末尾のアルファベットと数字を組み合わせた記号（例：A141）は、原画番号です。

はじめに

伊藤熊太郎（いとう くまたろう）は明治から昭和にかけて活躍した博物画家です。写真が未発達だった時代、図鑑や学術文献のために多くの精緻な魚類画を描き、魚類学の発展に貢献しました。また、1900年代初期に行われたアメリカのアルバトロス号によるフィリピンでの海洋調査に絵師として参加。色鮮やかな多数の魚類画がスミソニアン博物館に残されています。

熊太郎は、日本ではほとんど無名ですが、本企画展示「図鑑で楽しむ江戸前の海」開催中の2016年8月に、展示中の原画をきっかけとして、熊太郎が描いたスケッチ帖6冊、原画1,261枚が荒俣宏氏により発見されました。

熊太郎の絵がこれだけまとまって発見されるのは初めてで、これは明治期以降の魚類博物画の国内有数のコレクションと言えます。

本学ではこの発見を広く紹介するために展示の入れ替えを行い、魚類博物画研究で著名な荒俣宏氏による講演会を開催することとしました。

幻の魚類博物画家 伊藤熊太郎の素晴らしい絵をこの機会にぜひご鑑賞ください。

1 写生帖 新発見資料

伊藤熊太郎の貴重な写生帖です。表紙には「水産動植写生稿」とあり“伊藤熊太郎図書印”という蔵書印が捺されています。内容は、ほとんどが魚類や貝類の手描きのスケッチで、ところどころ印刷された図やその切り抜きが貼り付けられています。ほとんどのページに魚名やその魚を入手した地名などがメモとして記載されており、また、魚種について調べたことの記載もあります。このように、単なるスケッチ帖に留まらず、魚についてかなり熱心に調査し、正確な図にしようと写生の試行錯誤を繰り返していたことが窺えます。

記載されている言葉には「水産講習所」「房州館山」「東京魚市場」が多く、これらとの関わりが深いことがわかります。ちなみに、水産講習所は本学の前身で当時は越中島にありました。また、房州館山には明治42年（1909）年～昭和5年（1930）まで、水産講習所の高島実験場（たかのしまじっけんじょう）がありました。

■解説■伊藤熊太郎（いとう くまたろう）生没年不詳

明治から昭和にかけて活動した博物絵師。東京に住んだが生没年などいっさい詳らかでない。博物局絵師中島仰山（なかじま ぎょうざん）の門人だが、東京帝国大学の岸上鎌吉（きしのうえ かまきち）の知遇を得、アメリカのアルバトロス号による博物探検航海に絵師として参加した。彼の業績は日本ではまったく知られていないが、アメリカのスミソニアン博物館におびただしい数にのぼる熊太郎の彩色魚類図が眠っている。

『日本水産動植物図集』（1931-32）の画業がある（参考文献4）。

末尾の伊藤熊太郎に関する年表（p. 12-13）もご参照ください。

- 1 ルリハタ *Aulacocephalus temminckii* (パネル)
水産動植寫生稿 3 卷 p. 115 モヨギハタと書かれているがルリハタの別名。
- 2 マハゼ *Acanthogobius flavimanus* (パネル) 水産動植寫生稿 4 卷 p. 121
- 3 水産動植寫生稿 3 卷 (全 126 ページ)
- 4 水産動植寫生稿 4 卷 (全 141 ページ)
- 5 水産動植寫生稿 5 卷 (全 26 ページ)
- 6 水産動植寫生稿 6 卷 (全 70 ページ)
- 7 水産動植寫生稿 7 卷 (全 74 ページ)
- 8 水産動植寫生稿 8 卷 (全 28 ページ、付図 7 枚)
No. 3~8 は、水産講習所図書館で昭和 6 年 8 月 15 日に受け入れた。第 1 卷・第 2 卷は元々受入記録がない。8 卷の付図 7 枚は折りたたんではさまれていたが、図書館で受入後に広げた形で額装して保存している (No. 34 日本重要水産動物圖)。
- 9 カツオ *Katsuwonus pelamis* 水産動植寫生稿 3 卷 p. 46
右下に伊藤の印が捺してある。
- 10 ネズミフグ *Diodon hystrix* (右上 左上)
イトマキフグ *Kentrocapros aculeatus* (右中)
ハコフグ *Ostracion immaculatum* (右下)
ハコフグ? (左中)
ミナミハコフグ *Ostracion cubicum* (左下)
以上、水産動植寫生稿 4 卷 p. 72
- 11 ミズウオ *Alepisaurus ferox* (下の図) 水産動植寫生稿 5 卷 p. 4
明治 17 年のスケッチ。
- 12 ブチアイゴ *Siganus punctatus* (上)
アイゴ *Siganus fuscescens* (下)
「色彩は昭和 5 年 12 月東京魚市場ノ魚ヨリ写ス」と記載あり。
以上、水産動植寫生稿 4 卷 p. 55 (パネル)

■補足解説■

中島仰山 (なかじま ぎょうざん) 天保 3 年 (1832) ~大正 3 年 (1914)

*こうざんとする文献もあり。

伊藤熊太郎は彼の門下生である。

本名は舟橋鋏次郎 (ふなばし くわじろう) といい、天保 3 年 (1832) 7 月 10 日、舟橋半右衛門の次男として生まれた。文久 2 年 (1862) 頃、幕府の開成所に入って高橋由一 (たかはし ゆいち) らとともに、洋画や写真技術の研究、博物図譜の製作に携わる。慶應 3 年 (1867) に開成所を離れ、明治維新前後に中島恭之助の養子となり中島姓を名乗るとともに仰山と号し、一時期徳川慶喜のそばにいて博覧会模写御用も務めた。明治

5年（1872）に現在の東京国立博物館の前身である博物館が創設されると、当初から出仕して博物画の製作を行った。明治7年（1874）には新古書画展に油絵を出品、同10年（1877）の第一回内国勸業博覧会には日本画を出品している。明治10年代には博物館の仕事として多くの博物画を描くが、明治30年代以降の展覧会時代に出品はなく、大正3年（1914）、静岡で82歳の生涯を閉じた（参考文献7）。

本学では『東京上野公園水産博覧會』（中島仰山画，宮田六左エ門彫 東京：水産博覧會事務所，1883.4）、『鰯圖解一覽』（河原田盛美著；田中芳男閱；中島仰山圖 東京：大日本水産會，明治17年（1884））を所蔵している。

2 原画 新発見資料

昭和2年から5年の毎年、6回にわけて、水産講習所図書館は伊藤熊太郎の原画合計1,261枚を購入しました。これらの原画には、魚類、貝類、水生生物の素晴らしい絵が描かれています。ここではその一部を紹介します。絵画としての鑑賞にも堪える素晴らしい作品をどうぞご覧ください。

- 13 ホシザメ *Mustelus manazo* (パネル) A31
- 14 ユカタハタ *Cephalopholis miniata* (パネル) C39
- 15 エビスダイ *Ostichthys japonicus* (パネル) B67
- 16 イトヒキアジ *Alectis ciliaris* E18
- 17 アオウミガメ *Chelonia mydas* A122
- 18 ランチュウ *Carassius auratus* A93
- 19 ウグイ *Tribolodon hakonensis* B52
- 20 ムツゴロウ *Boleophthalmus pectinirostris* B129
- 21 カスザメ *Squatina japonica* A52
- 22 イトヨリダイ *Nemipterus virgatus* (パネル) B84
- 23 モンガラカワハギ *Balistoides conspicillum* (パネル) B102
- 24 ナメモンガラ *Xanthichthys mento* (パネル) C37
- 25 タカベ *Labracoglossa argentiventris* B168
- 26 マハゼ *Acanthogobius flavimanus* B134
- 27 サクラマス *Oncorhynchus masou* B179
- 28 アカハタ *Epinephelus fasciatus* C38
- 29 アカイサキ *Caprodon schlegelii* C10
- 30 ハモ *Muraenesox cinereus* E20

ここには伊藤熊太郎が描いた図を掲載している図鑑・書籍を集めました。第二次世界大戦前の図鑑は概ね手描きの図版で構成されていました。魚の特徴をとらえ、正確に描写し、種の同定を可能にするこれらの図は魚類学研究に欠かせないものでした。また、それだけではなく、後述の『新日本水産動植物図集』序文にあるように“写真以上のリアリティと迫力をもって見る者を楽しませ”多くの人々を魅了したのです。

- 31 ネンブツダイ *Apogon semilineatus* (パネル) E24
 32 ハコフグ *Ostracion immaculatum* (パネル) E4
 33 コショウダイ *Plectorhinchus cinctus* (パネル) B89
 34 日本重要水産動物圖 / 大日本水産會編 第1圖 - 第7圖. - 訂正増補. - 東京 : 小林新兵衛, 1897 662.6/D25/1/別置図書

この図は京都大学所蔵の『訂正再版日本重要水産動植物図』(1890年発行)と絵が似ている。京都大学所蔵の図には“訂正再版日本重要水産動植物図解説”が付されており、その緒言に「画工伊藤熊太郎氏之ヲ描写シタリ。」とあることから、この図も彼の作である可能性がある。なお、京都大学所蔵の図は、明治22年(1889)開催のパリ万国博覧会に出品された農商務省水産局製石版「重要水産動植物図」を、大日本水産会が同省の許可を得て製作した改訂再版である。

この改訂再版作成にもっとも尽力したのは、大日本水産会創設に関わり、後に水産講習所初代所長となった松原新之助であったという(参考文献10)。

なお、本図は元々、上記No.8の水産動植寫生稿第8巻の巻末に折りたたまれてはさまれていたものである。

***展示ホールに面したアーカイブズルームにて展示**

- 35 日本魚類圖説 / 藤田經信[ほか]著 第1巻 第1集 - [図版 第1巻 第6集]. - 東京 : 裳華房, 1903- 487.5/083/別置図書

凡例に「圖畫ハ皆伊藤熊太郎氏ノ執筆ニ成ル」とあり。また、別冊図版の[解説]に「圖畫ハ伊藤熊太郎氏ノ實物寫生ニ成ル」とある([解説]は国立国会図書館デジタルコレクションによる。本学所蔵の別冊は図版のみで[解説]は欠落)。なお、展示しているページはカワマス *Salvelinus fontinalis* である。

- 36 日本重要水産動植物圖 / 大日本水産會編 [図版], 解説. - 東京 : 嵩山房, 1910.10 662.6/D25/R/別置図書

明治22年(1889)開催のパリ万国博覧会に出品された農商務省水産局製石版「重要水産動植物図」を元に、明治23年(1890)、大日本水産会が同省の許可を得て改訂再版を製作。明治30年(1897)、更に魚種を追加して出版し(上記No.34)、その上更に十数種を追加して出版したもの。伊藤熊太郎の作である可能性がある。

- 37 日本魚介図譜 / 田子勝弥編 第1輯, 第2輯, 第3輯. - 京都 : 芸艸堂 ,
1929.4-1930.2 487.5/Ta18/1/別置図書

冒頭に次のように記載されている。「伊藤熊太郎氏は明治30年頃まで、農商務省水産調査所で水産動植物を寫生した人である。その頃、氏の寫生した魚介類の圖は數百枚に達して居る。その圖を見ると繊細なる筆致と絢爛なる色彩は眞に迫り寫實の妙を極め動物の標本圖としては誠に模範的のものである。著者は斯る名画を一個人が秘蔵することは惜い様に感ぜらるゝので今回芸艸堂の主人に計りその内若干を印刷して同好の士に頒つことにした。如何に名画でもその名称が判明しなければ不便であらふと思ふから原画に記載したる名称を付記し併せて簡單なる説明を試みたのである。」

- 38 日本水産動植物図集 / 大日本水産會編纂 上編, 下編. - 東京 : 大日本水産會 ,
1931-1932 662.6/D25/R

大日本水産會が創立50周年を記念して出版した記念碑的刊行物。序文に「本圖集ハ魚介寫生ノ大家伊藤熊太郎ノ描寫ニ係リ生物學の權威數氏ノ監修ヲ經タル科學的正確ナル原色版ニシテ本邦空前ノ著述ナリト信ズ」とある。また「圖畫 伊藤熊太郎」と記載されている。

なお、この序文は当時の大日本水産會会長の伊谷以知二郎(いたに いちじろう)による。伊谷は水産講習所第三代の名所長として、水産教育界のみならず水産業界全体に大きな影響を与えた人物である。

- 39 日本重要魚類圖集 / 海老名謙一編 東京 : 樂水會. - 東京 : 丸善 (發賣) ,
1931.9 487.5/E15/R

序に「水産講習所の所蔵になる伊藤熊太郎氏筆魚類寫生圖三百余种中より重要なもののみを許可を得て抜粋し、簡單なる解説を付して刊行し以て學生の勉學上の参考に資せん事を期せり。」と記載されている。カラー印刷でないことが惜しまれる。

- 40 新日本水産動植物圖集 札幌 : 北日本海洋センター , 1996.10 662.6/D25/R

『日本水産動植物圖集』下巻(大日本水産會, 1932)の図版をそのまま再版、最新の解説を付す。序で掲載画について「ある意味では写真以上のリアリティと迫力をもって見る者を楽しませ、ときには美術的な興奮さえ覚えさせるのである。」と書いている。また「半世紀余を経てなお、これだけ広範な内容を持ち、しかも美しい図鑑はほかにないと思われた。」と復刻の理由を説明している。

4 学術文献 その他

熊太郎の魚類図は多くの学術文献に図版として掲載されています。また、明治40年(1907)以降にアルバトロス号の海洋調査で描いた多くの魚類画も、その後、多数の文献に用いられています。

■解説■伊藤熊太郎と水産講習所

伊藤熊太郎は『訂正再版日本重要動植物図』『日本水産動植物図集』など、大日本水産会が発行した図鑑の図版を描いている。大日本水産会は水産講習所の前身である水産伝習所を設立した組織であり、後の水産講習所と深いつながりがあった。

また、年代は不明だが、次に紹介する『甲殻類正図』には“水産講習所画工伊藤熊太郎先生”という記載がある。これを裏付けるように、彼の写生帖には昭和2年から6年頃に水産講習所やその実習場で魚を写生したという多くのメモが残されている。彼の原画が大量に本学に残るのはこのような理由のためかもしれない。

- 41 甲殻類正圖（こうかくるいせいず） / 塚本岩三郎（つかもと いわさぶろう）画作
東京：東京造画館，出版年不明 5軸中第一図 奈良女子大学学術情報センター所蔵（パネル）

『甲殻類正図』には「農商務省水産講習所画工伊藤熊太郎先生原図」とあり、伊藤熊太郎の絵を元に塚本岩三郎が製作したとしている。絵は伊藤熊太郎による『訂正再版日本重要水産動植物図』と酷似しており、記載に相違ないと思われる。この資料は、判明している限りで伊藤熊太郎を水産講習所画工として記載している唯一の資料である。

■解説■アルバトロス号の海洋調査

1907年から3年間、米国魚類委員会所有の汽船アルバトロス号がフィリピン沖で水産資源の調査を行った。伊藤熊太郎はこの調査に画家として雇用され、数百枚の魚類画を描いた。彼が選ばれたのは、フィリピン調査を計画した漁業委員会副委員長のヒュー・M. スミス博士に、岸上鎌吉からの推薦があったためと言われる。

スプリンガーによれば、彼が描いたフィリピンの魚の水彩画は非常に優れていて、種の同定をするのに何の困難もないとのことである。また、アルバトロス号が収集したフィリピンの魚類に関する論文が伊藤の絵とともに出版されていたら、その種の出版物としては最も優れたものの一つになったであろうと書いている（参考文献6）。

これらの魚類図はスミソニアン博物館に収蔵され、その一部を同館のホームページで見ることができる（参考文献11）。

- 42 アミメウマヅラハギ *Cantherhines pardalis* （パネル） B24

◆A 和雑誌（出版年順）◆

- 43 岸上鎌吉 日本さばト歐米さば 水産調査報告 1894, 2 (1), p. 1-6, 3 pls.
P660/188
「伊藤熊太郎画」と記載されたさばの図が3点掲載されている。
- 44 岸上鎌吉 あはび研究 第1報 水産調査報告 1895, 3 (1-2), p. 1-25, 3 pls.
P660/188
「伊藤熊太郎画」と記載されたあわびの図が3点掲載されており、うち2点は彩色である。また彩色版のうち1点は「岸上伊藤画」と記載されており、著者とともに描いたことが推察される。
- 45 北原多作 本邦産さば族ノ査定 水産調査報告 1897, 6 (1), p. 1-15, 4 pls.
P660/188
「北原伊藤寫生」と「岸上伊藤寫生」が各1点、「伊藤寫生」2点。
- 46 大瀧圭之介 本邦産ひらめ族ノ査定 水産調査報告 1897, 6 (1), p. 17-36,
4 pls. P660/188
「伊藤寫生」の図版4点を掲載。
- 47 藤田經信 いたばかき蕃殖方法調査報告 水産講習所試験報告 1899, 1 (1),
p. 46-56, 2 pls. P/1
「伊藤寫生」の図版2点を掲載。
- 48 服部他助 藤田政勝 大石芳三 多摩川香魚人工孵化試験第一回報告 水産講習
所試験報告 1899, 1 (1), p. 57-75, 1 pl. P/1
「伊藤寫生」の図版1点を掲載。
- 49 ヴィクター・G. スプリンガー文 朝倉久美子訳 スミソニアン博物館に秘められ
た魚類画：海を渡った日本人画家、伊藤熊太郎 アニマ 1985. 11, 13 (11), p.
38-40. P480/7
魚類学者スプリンガーによる伊藤熊太郎研究を抄訳したもの。アルバトロス号の海
洋調査で描いた色鮮やかな魚の絵が美しい。

◆B 洋雑誌（出版年順）◆

以下のNo. 50~65の文献は、1999年のSpringer論文（参考文献6）に掲載されてい
る伊藤熊太郎の図版掲載文献の一覧によるものである。

- 50 Radcliffe, L. 1911. Notes on some fishes of the genus *Amia*, family
Cheilodipteridae, with descriptions of four new species from the Philippine
Islands. U. S. Natl. Mus., Proceedings 41 (1853) :245-261, pl. 20-25. P400/73
- 51 Radcliffe, L. 1912. New pediculate fishes from the Philippine Islands and
contiguous waters. U. S. Natl. Mus., Proceedings 42 (1896) :199-214, pl. 16-27.
P400/73

- 52 Smith, H. M. 1912. The chimaeroid fishes of the Philippine Islands, with description of a new species. U.S. Natl. Mus., Proceedings 42 (1899) :231-232, pl. 29. P400/73
- 53 Smith, H. M. and L. Radcliffe. 1912. Description of a new family of pediculate fishes from Celebes. U.S. Natl. Mus., Proceedings 42 (1917) :579-581, pl. 72 P400/73
- 54 Radcliffe, L. 1912. Descriptions of a new family, two new genera, and twenty-nine new species of anacanthine fishes from the Philippine Islands and contiguous waters. U. S. Nat. Mus., Proceedings 43 (1924) :105-140, pl. 22-31. P400/73
- 55 Radcliffe, L. 1913. Descriptions of seven new genera and thirty-one new species of fishes of the families Brotulidae and Carapidae from the Philippine Islands and the Dutch East Indies. U.S. Natl. Mus., Proceedings 44 (1948) :135-176, pl. 7-17. P400/73
- 56 Smith, H. M. 1913. The hemiscyllid sharks of the Philippine Archipelago, with description of a new genus from the China Sea. U.S. Natl. Mus., Proceedings 45 (1997) :567-576, pl. 45. P400/73
- 57 Smith, H. M. 1913. Description of a new carcharioid shark from the Sulu Archipelago. U.S. Natl. Mus., Proceedings 45 (2003) :599-601, pl.47. P400/73
上記8点は、どれもアルバトロス号海洋調査の報告であるため、伊藤熊太郎が図版を描いたものと推察される。
- 58 Randall, J. E. 1956. A revision of the surgeon fish Genus *Acanthurus*. Pac. Sci. 10 (2) :159-235, pl. 1-3. P400/18
アルバトロス号海洋調査の報告が含まれており、掲載図版は伊藤熊太郎によると思われる。
- 59 Schultz, L. P. 1967. A review of the fish genus *Labracinus* Schlegel, family Pseudochromidae, with notes on and illustrations of some related serranoid fishes. Ichthyologica, the Aquarium journal . 39 (1) :19-40. 未所蔵
- 60 Schultz, L. P. 1969. The taxonomic status of the controversial genera and species of parrotfishes with a descriptive list (family Scaridae) . Smithson. Contrib. Zool. 17:1-49, 8 pl. P480/47
熊太郎が描いた大変美しいカラー図版1~8を掲載。
- 61 Greenfield, D. W. 1974. A revision of the squirrelfish genus *Myripristis* Cuvier (Pisces:Holocentridae) . Nat. Hist. Mus., Los Angeles County, Sci. Bull. 19:1-54. 未所蔵

- 62 Kaburaki, T. 1923. The polyclad turbellarians from the Philippine Islands. U.S. Natl. Mus., Bull. 100, vol. 1 (10) :635-649, pl. 53, 54
<http://www.biodiversitylibrary.org/bibliography/7548#/summary> (accessed 2016-12-13)
東京帝国大学の鏑木外岐雄博士の論文。伊藤熊太郎の多岐腸類渦虫の図を掲載している。
- 63 Fowler, H. W. and B. A. Bean. 1928. The fishes of the families Pomacentridae, Labridae, and Callyodontidae, collected by the United States Bureau of Fisheries steamer "Albatross," chiefly in Philippine seas and adjacent waters. U. S. Natl. Mus., Bull. 100 (7) :1-525, pl. 1-49.
<http://www.biodiversitylibrary.org/bibliography/7548#/summary> (accessed 2016-12-13)
- 64 Fowler, H. W. and B. A. Bean. 1929. The fishes of the series Caprifformes, Ehippiformes, and Squamipennes, collected by the United States Bureau of fisheries steamer "Albatross," chiefly in Philippine seas and adjacent waters. U.S. Natl. Mus., Bull. 100 (8) :1-352.
<http://www.biodiversitylibrary.org/bibliography/7548#/summary> (accessed 2016-12-13)
上記2文献 (No. 63, 64) は、注記に、カラスケッチはK. Ito によるという記載がある。
- 65 Fowler, H. W. 1931. The fishes of the families Pseudochromidae, Lobotidae, Pempheridae, Priacanthidae, Lutjanidae, Pomadasyidae, and Teraponidae, collected by the United States Bureau of Fisheries steamer "Albatross," chiefly in Philippine seas and adjacent waters. U.S. Natl. Mus., Bull. 100 (11) :1-388. [P400/22](#)
次の記載がある。
"For K. Ito, in appreciation of his many color sketches of Philippine-East Indian fishes."

◆C 単行書 ◆

- 66 Pietsch, T. W., and D. B. Grobecker. 1987. Frogfishes of the world: systematics, zoogeography, and behavioral ecology. Stanford Univ. Press, Stanford, Calif., 420 p., 56 col. pls. (on 9 unnumbered pages) . [487.8/P61](#)
Fig. 64 が Drawn by K. Ito として掲載されている。

◆D 絵はがき ◆

- 67 日本重要水産動物 (尚美堂教育資料繪葉書集) 魚類 (1) - (2) 海底の魚介、貝類 / 尚美堂編 尚美堂, 1940

* 「海底の魚介」は伊藤熊太郎先生画とあり。

5 写生から図鑑まで

このたび、熊太郎の写生帖と原画が発見されたことにより、写生から原画、そして図鑑とつながる流れを見ることが可能となりました。写生の段階から、どのように試行錯誤して原画に仕上げ、それがどのように出版物として完成したかをご覧ください。また、熊太郎が書写したごく初期の珍しい写本もあわせてご覧ください。

◆写生から出版物までの例◆

例1 ミギマキ *Goniistius zebra*

68 写生帖 水産動植寫生稿 4巻 p. 26

69 原画 C34

70 出版物 日本魚介図譜 / 田子勝弥編 第3輯 pl. 59. (No. 37)

例2 シロギス *Sillago japonica*

71 写生帖 水産動植寫生稿 4巻 p. 30

72 原画 B82

73 出版物 日本重要魚類圖集 / 海老名謙一編 第127図版 (No. 39)

例3 アオギス *Sillago parvisquamis*

74 写生帖 水産動植寫生稿 4巻 p. 29

75 原画 B81

出版物 不明

◆熊太郎が書写した初期の珍しい写本◆

- 76 千魚一観録 (せんぎょいっかんろく) / 森立之 (もり たつゆき) 撮抄 [書写地不明]: 伊藤熊太郎 [写], 明治21[1888] 富山大学附属図書館医薬学図書館所蔵
伊藤熊太郎が明治21年1月に山本由方 (やまもと よしかた) より借りて書写した写本。農商務省の罫紙に書写されているので、この頃、農商務省にいたと思われる。同館により電子化されインターネットでもアクセスすることができる。

●書写者伊藤熊太郎の「千魚一観録」

<http://hdl.handle.net/10110/00016744> (accessed 2017-1-20)

●参考: 書写者不明の「千魚一観録」

<http://hdl.handle.net/10110/00016748> (accessed 2017-1-20)

●手にとって見られる本

ソファーに座ってゆっくり楽しめるよう、手に取って見られる関連の本を並べました。どうぞごゆっくりお楽しみください。

- 77 磯魚ワンダー図鑑：アラマタ版 / 荒俣宏著 東京：新書館，2007.7
487.5/A64/R
- 78 アラマタ生物事典 / 荒俣宏監修 東京：講談社，2011.7 460.4/A64
- 79 魚類：新装版。 - 東京：平凡社，2014.12. - (世界大博物図鑑 / 荒俣宏著；第2巻) 460.3/A64/2R
- 80 水生無脊椎動物 / 荒俣宏著 東京：平凡社，1994.6. - (世界大博物図鑑 / 荒俣宏著；別巻2) 460.3/A64/R
- 81 江戸の動植物図譜 / 狩野博幸監修 河出書房新社，2015 499.9/Ka58

■主な参考文献 (上記以外に参照した資料)

発行年順

- 1 田中芳男 雲停翁小傳 博物雑誌，1879，(1)，p. 7-9
- 2 明治畫家略傳 / 渡邊祥霞編；杉浦高陽閱 鴻盟社，1884
- 3 ヴィクター・G・スプリンガー スミソニアン博物館に秘められた魚類画：海を渡った日本人画家伊藤熊太郎 アニマ 1985.11, 13 (11)，p. 38-40
- 4 魚類 / 荒俣宏著 東京：平凡社，1989.5. - (世界大博物図鑑 / 荒俣宏著；第2巻)
- 5 幕末・明治の画家たち [正] 文明開化のはざまに / 辻惟雄編著 ペリかん社，1992
- 6 Springer, Victor G. Kumataro Ito, Japanese artist on Board the U. S. Bureau of Fisheries Steamer Albatross during the Philippine Expedition, 1907-1910 Marine Fisheries Review, 1999, 61 (4)，p. 42-57
- 7 日本の博物図譜：十九世紀から現代まで / 国立科学博物館編 東京：東海大学出版会，2001.10. - (国立科学博物館叢書；1)
- 8 Gosliner, Terrence M. Marine Gastropoda collected by the Steamer Albatross from the Philippines in 1908. Records of the Western Australian Museum Supplement, 2006, 69, p. 83-93
- 9 松田清 日本重要水産動植物図と田中芳男 かりん：京都大学人環・総人図書館報 2008.12, 1, p. 11-14
- 10 幕末・明治の画家たち 続 激動期の美術 / 辻惟雄編著 ペリかん社，2008
- 11 Smithsonian National Museum of Natural History / Fish Illustrations by Kumataro Ito. http://vertebrates.si.edu/fishes/albatross/ito_illustrations.html, (accessed 2016-10-04)

●伊藤熊太郎に関する年表

伊藤熊太郎については生没年ほか詳しいことがわかっていませんが、判明している限りのことを元に年表を作成してみました。

No	西暦	和暦	事 項	出典 所蔵
1	1881	明治 14	東京帝国大学動物学教室で魚類の画工	Springer 論文 注 11 による
2	1883	明治 16	水産博覧会出品物を模写	写生稿 5 巻 p. 11
3	1888	明治 21	千魚一観録を书写	富山大学所蔵
4	1889	明治 22	東京共進会出品図 * 中島仰山及び伊藤熊太郎の原画による木版画	入間市博物館所蔵 ※1
5	1890	明治 23	日本重要水産動植物図 訂正再版 (大日本水産会)	京都大学所蔵
6	1894	明治 27	岸上鎌吉 日本さばト欧米さば	水産調査報告 2 (1) 海洋大所蔵
7	1895	明治 28	岸上鎌吉 あはび研究 第一報	水産調査報告 3 (1-2) 海洋大所蔵
8	1897	明治 30	北原多作 本邦産さば族ノ査定	水産調査報告 6 (1) 海洋大所蔵
9	1897	明治 30	大瀧圭之介 本邦産ひらめ族ノ査定	水産調査報告 6 (1) 海洋大所蔵
10	1897	明治 30	日本重要水産動植物図 訂正増補 (大日本水産会) * 伊藤熊太郎の作である可能性あり	海洋大所蔵
11	1897	明治 30	明治 30 年頃まで農商務省水産調査所で水産動植物を写生した	田子「日本魚介図譜」 海洋大所蔵
12	1899	明治 32	藤田経信 いたばかき蕃殖方法調査報告	水産講習所試験報告 1 (1) 海洋大所蔵
13	1899	明治 32	服部他助ほか 多摩川香魚人工孵化試験第一回報告	水産講習所試験報告 1 (1) 海洋大所蔵
14	1903	明治 36	日本魚類図説 (藤田経信ほか)	海洋大所蔵
15	1907	明治 40	アルバトロス号航海第 1 回 1907/12/4~1908/7/3	Springer 論文
16	1908	明治 41	「<消息>伊藤熊太郎安井育二の両氏はマニラ政庁の写生書家として招聘され十九日同地に向け出発せり」との記述あり	美術新報 7 (18) (明治 41 年 12 月 5 日) p. 7 (143) 3 段目

No	西暦	和暦	事 項	出典 所蔵
17	1909	明治 42	Smith, Hugh M., Japanese goldfish, their varieties and cultivation	インターネット公開 ※2
18	1909	明治 42	アルバトロス号航海第 3 回 1909/9/27～1910/2 月初旬	Springer 論文
19	1910	明治 43	6 月 17 日、ヒュー・スミスが伊藤に手紙を書き、 その中で、アルバトロス号乗船中に下絵を描いた 絵の完成のためワシントンに 1 年滞在する条件で 招きたいとしている	Springer 論文
20	1910	明治 43	日本重要水産動植物図 (大日本水産会) *伊藤熊太郎の作である可能性あり	海洋大所蔵
21	1912	明治 45	アルバトロス号乗船中の下絵を完成させるため に、米ワシントンを訪れる	Springer 論文
22	1912	明治 45	1912/4/18 頃捕獲された魚を描いた伊藤の絵が米 政府に 6/24 日付で公式受理された記録が残って いる	Smithsonian HP
23	1927	昭和 2	昭和 2 年～5 年にかけて毎年、水産講習所が伊藤 熊太郎の原画を合計 1,261 枚購入	海洋大所蔵
24	1927	昭和 2	昭和 2 年から 6 年頃に水産講習所やその実習場で 魚を写生したという多くのメモが残されている	水産動植寫生稿
25	1929	昭和 4	日本魚介図譜 (田子勝弥)	海洋大所蔵
26	1931	昭和 6	日本水産動植物図集 (大日本水産会)	海洋大所蔵
27	1931	昭和 6	水産講習所が「水産動植寫生稿」3 巻～8 巻を受 け入れ	海洋大所蔵
28	1931	昭和 6	日本重要魚類図集 (海老名謙一)	海洋大所蔵
29	1940	昭和 15	絵はがき「日本重要水産動物」	海洋大所蔵

※1 入間市博物館収蔵資料 木版画 ビラ「東京共進会」

http://www.alit.city.iruma.saitama.jp/search/artifact/det.html?data_id=14431
(accessed 2017-2-1)

※2 HathiTrust にて全文公開あり

<https://catalog.hathitrust.org/Record/002025368?type%5B%5D=title&lookfor%5B%5D=japane%20goldfish&ft=ft> (accessed 2017-2-1)

■ご協力

荒俣宏、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」、平凡社、富山大学附属図書館
医薬学図書館、東京海洋大学魚類学研究室

東京海洋大学品川キャンパス図書館 第13回企画展示
図鑑で楽しむ江戸前の海 第二期 幻の魚類博物画家 伊藤熊太郎 展示目録

発行日：2017年2月8日 編集・発行 2017年8月1日 改訂版発行

東京海洋大学附属図書館 〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

TEL 03-5463-0444 FAX 03-5463-0445 <http://lib.s.kaiyodai.ac.jp>

©東京海洋大学附属図書館
